

1 月
No.209



明けて
おめでとうございます



地域福祉の向上を推進

松本市社会福祉協議会 渡辺 聡



明けましておめでとうございます。
皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より地域福祉の推進にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、超少子高齢型人口減少社会の進行を背景に、経済的困窮や社会的孤立状態にある生活困窮者の増加や深刻化する子どもの貧困、認知症行方不明者の増加、子どもの犯罪被害やいじめ、高齢者、障がい者の虐待や悪質商法被害など、地域社会や家庭の様相は大きく変容し複雑で多様な福祉課題が顕在化しています。

このような状況のなか「福祉のまちづくり」を使命とする社協には、こうした地域社会の多様な課題を受け止め、その解決に向けた具体的な仕組みづくりが強く求められています。

当会におきましても、本年は社協の指針を示した「第三次地

域福祉活動計画」を策定して地域福祉活動の一層の推進を図るとともに、国が進めている社会福祉法人制度の改革に対応すべく、組織体制の強化と事業運営の透明性の向上等に着手してまいります。

さらに、昨年度の介護保険制度改正に伴い、医療・介護等の連携のもと高齢者が住み慣れた地域で生活することをめざす「地域包括ケアシステム」の構築に向けた日常生活支援体制の整備充実を図ります。

様々な福祉課題に対応できるよう、市民の皆さまをはじめ、関係機関・団体等との連携を図りながら、「誰もが安全・安心に暮らせる福祉のまちづくり」をめざし役職員一丸となつて地域福祉の向上に努めてまいりる所存でありますので、あらためまして、皆さまの一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆さまにとりましてご健康で幸多き最良の年となりますよう、心からお祈り申しあげ、年頭のごあいさついたします。

元旦号の表紙には各分野の事業の様子を紹介しました。

写真①（左上）第1回地区ボランティア部会研修会で真剣な眼差しで話を聞く部会員。

写真②（右上）第5回世界健康首都会議での「希望の家」のコーヒーの販売が好評でした。

写真③（左下）松原地区の育成会による、お正月に向けてのしめ縄づくり。

写真④（右下）第1回児童館まつりで絵本の読み聞かせを楽しむ親子。

写真⑤ 今回ご注目いただきたいのは真ん中の写真で、福祉活動の一環として、島立小学校6年生の「マイはし」づくりです。地域の皆さんと交流しながら制作しました。刃物の使い方を指導したのは鬼頭朝雄さんが代表を務める「鮑(かな)の会」です。ヒノキを削ってできあがった、まさに自分だけのマイはし。そのはしを入れる袋も手作りです。袋縫いをお手伝いしたのは、地域にお住まいの方々と、島立の福祉ひろばでパッチワークを楽しんでいるグループの皆さんです。中にはお孫さんが6学年にいる方もいて、作業は和やかに進み、それぞれのオリジナルマイはし袋ができました。子どもたちは「難しかったけど、おばあちゃんが優しく教えてくれたおかげで完成しました!!」と、ものづくりの楽しさを堪能し満足そうな様子でした。



第1回地区ボランティア部会研修会を昨年12月1日(火)に開催しました。地域のみなさんで支え合うしくみづくりについて約100名が参加し、さらなる一歩を踏み出すための研修会となりました。

松本市社協では、7つの障がい者施設を運営しています。「希望の家」や「北ふれあいホーム」などに通所するメンバーが、自立をめざして自分のできる作業に取り組んでいます。

松本市社協で運営している20の児童館・児童センターで、昨年11月28日(土)に初めて全館合同でお祭りを行ないました。参加者は工作や高齢者疑似体験等を真剣に取り組みました。





住民が支える成年後見 活動家養成の講座開催

真剣に受講する参加者



社協が運営する「成年後見支援センターかけはし」では、認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が低下した方が、住み慣れた地域で暮らし続けられるように、財産管理等を行なうことでその方の生活と権利

を守る成年後見について支援しています。かけはしでは今回一般市民の方が地域で後見人等となって活動するための「市民後見人養成講座」を初めて開催しました。

22人の方が、成年後見や関係する制度、法律等の基礎知識について7日間の基礎研修を受けました。

受講生からは「地域の一員としてお役に立てればよいと思います」等の感想が聞かれました。

今後7日間の実践研修、その修了後は実習やフォローアップ研修等で後見人等として活動できる人材を養成し、住民の手で支える地域社会を一緒につくっていきます。



地域貢献に汗を流しました 松本市プラチナ大学が清掃奉仕

60歳になっても様々な事を学び、プラチナのように輝いた人生を送るために「松本市プラチナ大学」で195人の受講生が学んでいます。

昨年11月11日(水)、20日(金)に同大学の目標のひとつである地域社会への貢献の一環として、清掃奉仕を行いました。11日は115人が集まり臨時駐車場としてお借りしている、イオン南松本店(松本市双葉)の施設内や学びの場としてお世話になっている中山の考古博物館で、落ち葉集めやゴミ拾いをして汗を流しました。

20日は、同大学の主会場となっている松本市総合社会福祉センターの敷地内・外にある落ち葉をきれいに片づけました。

清掃奉仕を終えて、仲間同士で片付いた敷地内を見渡しながら話し合う表情は、地域との繋がりを支える穏やかな笑顔が輝いていました。



「いきいきサロン」～松原地区～



みなさんぶらっときてね♪



松原地区では、60歳以上の高齢者を対象にしたお茶のみサロン「ぶらっとカフェ」を、昨年8月19日(水)から毎週水、土曜日の10時から12時までオープンしています。

ボランティアスタッフ7名が交替でお手伝いしています。利用者は好きな時間に、用意しているお茶やコーヒーをセルフサービスで飲みながら、他の利用者と楽しいひとときを過ごしています。

利用者の等々力さんは「毎回来るのよ、

1時間くらいおしゃべりして帰るけど、みんなと近況を話すことができ嬉しい」と話していました。利用者は延べ400名を越え、地域での孤独・孤立防止効果も期待でき、末永く続くことを願っています。



会話の花が咲いて笑顔です



応援します！あなたのボランティア活動

自発的な意志から始まるボランティア活動には、決まったかたちはありません。自分のために、そして喜んでいただける誰かのために想いを寄せる多くのボランティアが活動しています。ボランティアセンターでは、活動に関する情報提供や相談、活動先の紹介など、活動を行なう人、必要としている人のコーディネートをしています。

次のようなボランティアを募集していますので、ぜひご登録をお願いします。

*演奏・演芸活動

音楽、踊り、落語、手話など趣味や特技を披露してくださる個人、またはグループの皆さんに、地域のイベントや福祉施設などで活動していただきます。

*技術を活かす活動

編み物、縫い物、絵手紙、折り紙など制作活動や書道、囲碁、将棋などを教えてください。

*傾聴活動

主に高齢者を対象としたお話し相手として、個人宅や福祉施設を訪問します。活動にあたっては何か資格や技能が必要なわけではありません。傾聴に関心のある方、活動を始めたいと思っている方はお気軽にお問い合わせください。きっとすてきな体験と出会いがあなたを待っています。

【申し込み・問い合わせ】松本市社協ボランティアセンター 電話25-7311



何かボランティアでもしてみたいわ、何ができるかしら。ボランティアセンターに聞いてみましょう！

施設などで私のやっている趣味を披露したいな。ボランティアセンターに聞いてみよう！



松本市社協キャラクター愛称募集!!

昨年の「社協まつもと」7月号で募集していたマスコットキャラクターが決定しました。まだ名前が決まっていないので、どしどし名前を送ってね。



優しさがハートになって出てきちゃった。レンゲツツジ(市の花)の飾りがお気に入りなんだ。

- 募集期間：平成28年1月1日(金)から1月29日(金) ※当日消印有効
- 応募方法：①愛称 ②愛称に対する説明 ③住所 ④氏名(ふりがな必須) ⑤職業(勤務先・学校名) ⑥電話番号 ⑦年齢 以上7項目を記載のうえ、郵送、またはメールで応募してください。アドレス vol@syakyo-matsumoto.or.jp
※応募点数は1人1点としてください。
- 応募規格：①愛称は自作の未発表のものに限ります。
②愛称の著作権、使用权、その他一切の権利は本会に帰属します。
③愛称の使用にあたっては、修正させていただくことがあります。
④申し込みに伴う個人情報については、本募集に関する目的以外使用しません。

- 賞 金：最優秀賞 20,000円 1点
優秀賞 10,000円 2点
佳作 1,000円 7点

同じ愛称が採用された場合、愛称に対する説明の内容をもとに採用作品を決定します。

- 問い合わせ・応募先

〒390-0833 松本市双葉4-16 松本市社協地域福祉課
電話25-7311 F A X 27-2239



社協障がい者施設のイチオシ商品!



社協が運営する障がい者の就労施設「北ふれあいホーム」では、手作りパンを販売しています。平日の施設内での販売や出張販売も承っておりますので、お声掛けください。売り上げは施設で働く人たちの給料になります。ご協力おねがいします。

【商品の問い合わせ】
松本市社協
北ふれあいホーム
電話33-1133

ポイントカードもあるよ



毎週金曜日午後3時からは
一部を除いて100円セール

北ふれあいホーム内の「おひさまベーカリー」ではたっぷりのシメジとマイタケを使った「きのこのぱん」がイチオシ! 1つ160円です。1月に限りお店に来ていただいた方には「かりんとうラスク」をプレゼントします。

常勤・パート職員(ホームヘルパー)募集

●訪問介護員(ホームヘルパー)若干名

- 必要な資格 いずれかの資格を有する方(ホームヘルパー2級、介護職員初任者研修修了者、介護福祉士)、要普通運転免許
- 勤務地 双葉、元町、今井、波田、梓川の各事業所
- 勤務日等 応相談(土日、祝日勤務できる方歓迎)
- 勤務内容 訪問介護サービスの提供
 - ・生活援助:調理、洗濯、掃除、買い物等
 - ・身体介護:食事、排せつ、入浴、身体清拭等の介護
- 問い合わせ 松本市社協在宅福祉課 電話25-3032



2月6日にボランティア交流集会

「ボランティアから広がる笑顔～地域の絆」をテーマに平成27年度ボランティア交流集会を開催します。大勢の皆さまのご参加をお待ちしています。

- ✳期 日 2月6日(土)
- ✳会 場 松本市総合社会福祉センター
4階 大会議室
- ✳日 程 9:15～受付
9:30～ウェルカムコンサート
10:00～開会
(午前の部)10:10～12:00 活動発表
(午後の部)13:30～15:00 講演会
(ボランティアが支える地域づくり)
講師 ホールファミリーケア協会
理事長 鈴木 絹英 さん
- ✳問い合わせ 松本市社協ボランティアセンター
電話25-7311



食品の寄付にご協力ください

松本市社協では、生活に困窮している方の社会的自立を図るため、松本市生活・就労支援センター(まいさぼ松本)において、相談・就労支援を行なっています。その一環として一時的に食品を提供することにより、生活の一部を支えるとともに、困窮状態から脱却できるように支援を行なっています。

現在、提供する食品が不足している状況のため、食品の寄付について下記によりご協力いただければ幸いです。細部については相談・調整の上、対応させていただきます。

- ★食品の種類:缶詰、カップ麺、レトルト食品、非常食、白米等
(いずれも消費、賞味期限が1カ月以上あるもの)

- ★問い合わせ 松本市社協地域福祉課
電話27-3381



日赤社資&赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

日本赤十字社長野県支部松本市地区では、皆さまからお寄せいただいた社資を、地域における様々な事業に活用させていただいております。



ハートラちゃん

今年度ご協力いただきました社資についても、災害支援をはじめ国際活動、救急法の講習普及等の事業に活用させていただきます。

長野県共同募金会松本市支会に、皆さまからお寄せいただいた募金は、市内各地区の福祉事業に配分されるほか、市町村を越えた広域事業にも活用されています。

今年度ご協力いただきました募金についても、地区や市内全般的福祉事業に活用させていただきます。



愛ちゃんと希望くん



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 編集 「社協まつもと」編集事務局
電話 27-3381 FAX 27-2239 E-mail: syakyoum@avis.ne.jp
ホームページ <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>